



【星城中学生のオーケストラ演奏】

特集

星城中学校『魅力探検』—中高一貫6カ年教育—

「情操教育」中学3年間でオーケストラを完成するまでのプロセス	2
「遅しさ」学年行事紹介・がんばる星城中学生	3
「座談会」仰星コースの先輩と星城中生のエール交換・先輩からのメッセージ	4

【卯年からのメッセージ】「新年」をお題とした川柳と今年の抱負を語る	5
【学園アラカルト】各学校のニュース	6・7
【同窓生コーナー】あつまれ!!「星の子」	8
【トピックス】星城大学公開講座、リハビリテーション学部有志50名の活躍、学園永年勤続者表彰	8

中高一貫6カ年教育

星城中学校は、リーダーになるための教育を行っています。中学から高校仰星コースまでの中高一貫6カ年教育を通して、習熟度別授業を展開し、徹底した個人指導による学習をサポートし、国立大学、難関私立大学への合格を目指します。

「情操教育」

星城中学校では、情操教育の一環として全員でオーケストラを組みます。

星城中学校では、全員がオーケストラのメンバーです。情操教育を育む中で集中力とチームワークを学びます。

「全員」1人1つの楽器を選び、3年間を通して、週に1,2回の音楽の授業の中で練習していきます。1年生で基礎を学び、2年生では、初舞台として、卒業式・入学式の入退場、国歌・校歌の伴奏を担当します。3年生では、3年間の器楽活動の集大成として、オーストラリア語学研修での姉妹校との交歓会にて、演奏を行います。



星城中学のオーケストラって？

初めて楽器を手にして
1年A組 山口 直美

「スカ〜」…フルートを吹いてみたものの、一瞬、他の楽器に替えようかと思いました。でも、その後コツをつかみ、見事「ソ」の音が出るようになりました！私は、オーストラリアでの演奏という最大の目標に向かって、やはり強く、一生懸命取り組んでいきたいです。クラスの合奏は、まだバラバラだけど、みんなの心を一つにして、聴いている人をアッと驚かされるような演奏をしたいです。みんなが自ら頑張る雰囲気、共に上を目指していきたいです☆

2年生の気持ちを一つにして
2年A組 勝野 峻平

僕の担当はファゴットです。授業では藤原先生に、器楽講習会では専門の先生に教えていただいています。最初は音を出すだけで精一杯でしたが、今では「校歌」や「君が代」なども演奏できるようになりました！大勢の方々の前で演奏するのは、今回の卒業式が初めてなのでとても緊張しています。先輩方を心を込めた演奏で、堂々と送り出せるように、2年生の気持ちを一つにして、これからの練習に励みたいです☆

長い道のりの先には
3年A組 杉浦 由莉

私たちはオーストラリアで、映画「インディーズ」で使われている「レイダースマーチ」を演奏します。この楽譜を初めて見た時は、正直「出来るかな」と不安でしたが、その後、器楽講習会や音楽の時間の練習を重ねて、あと一步の所まで上達することができました。音楽の時間、私にとって大きかったのはパート練習です。ヴァイオリンのみんなが積極的に質問し合ったり、楽しく練習している姿を見て、私も後押しされました。個人で練習し、パートで合わせ、そして全体で何度も繰り返し演奏してやっとなり完成する…という、長い道のりを終えての器楽演奏を楽しみにしています。みんなで協力し、悔いの無いものにしたいです！

先輩として振り返ってみると
仰星1年1組(星城中学校出身) 佐藤 喜則

3年間ヴァイオリンをやってきたことは、自分にとって、とてもプラスになりました。祝い事や地域に貢献するためにも楽器が弾けるということは、とても素晴らしいことだと思います。また、オーストラリアで演奏したことは、今後さまざまな大舞台上に立つ場面があった時でも、生かしていけると確信しています。語学研修に行く後輩へは、本番で緊張しないよう、日頃から演奏と成功のイメージトレーニングを行うことです。このような大舞台上に立つという経験は、日頃からできるものではありません。自信を持って、失敗を恐れずに演奏して下さい。みなさん、数少ないチャンスを活かして頑張ってください！

講師からのメッセージ

週1回の授業以外に毎年数回、器楽講習会が行われており、生徒たちは、各楽器のプロからレッスンを受けています。

個人的にレッスンを受けている生徒もいますが、中学校で初めて楽器に触れる生徒さんが多いので、楽器の扱い方・構え方から指導しています。初回は楽器をどうしたらいいのかわからないのですが、学年が上がる頃には指の形もすっかりし、自分なりに曲に打ち込める様に見受けられます。正しい楽器の扱いを理解してこそ、その楽器と楽しく過ごせるので、とてもいい経験になっているのではと思っています。(岩瀬浩子先生)

クラシックを題材にしたテレビドラマ等の影響もあり、身近に感じられるようになってきたオーケストラですが、実際に楽器を演奏しようと思ってもなかなか機会がないのが現状だと思います。そんな中で、1人1つオーケストラの楽器を3年間勉強するという星城中学校さんの方針は音楽において1番大切な「音を楽しむ」ことのできる素晴らしい方法だと感じています。(塚寛先生)

「逞しさ」

感謝のできる実践力に富んだ逞しい人間の育成のために、数々の校外行事を行います。

彼らの逞しさは学年行事にある！

漁村体験とは… 2年A組 近藤 有真 (福井県三方郡美浜町)

未知との出会い、そして、出会いの宝庫!!

レガッタ体験は、本当の友達との出会いです。自分を知り、他人を知った時、チームの偉大な力に出会えます。早朝3時からの漁体験では、たくさんの魚に出会い、自分たちで捌いた魚の朝食にも出会いました。1番は、大きくなった自分に出会える体験です。

星城中学校では、怯まず挑む逞しさを武器に、夢を勝ち取る。そんな人間を育てます。専光坊で自分を知り、漁村体験で自分に挑み、語学研修で大きく育った自分に出会う。そして仰星コースへ…。逞しい心と体を育てる星城中生者がここにいます。

語学研修とは… 3年B組 伊藤 海人 (パララット・クラレンドン・カレッジ、マラント・クリア・カレッジ)

新たなスタートのために!

オーストラリアに出かけ、中学の3年間で学んできた力を試す10日間です。仰星コース進学を目前に控えた、僕たちにとって大きな切りともなります。姉妹校訪問からホームステイまた授業参加などを通し、高校での新たなスタートへと自分自身をステップアップさせる行事となります。

内観研修とは… (桑名市専光坊) 1年A組 勝野 粧子

想像をはるかに超える過酷な行事!? お寺で6日間 自分を見つめ直す研修です。

でも、その体験で「あたりまえ」が「ありがたい」に変わるんです。虫に刺されても、自分で薬を塗るんです。お母さんにあたりまえに塗ってもらったことが、塗ってもらえるありがたさにも変わるんです。私はこの研修で、本当に両親に支えられて生きてこれたんだな…って実感できました。スバリ、過酷だけど、一生の宝となる研修なんです。

がんばる星城中生

愛知県私立優良生徒表彰
3年A組 西川 淳元

10月27日(水)に名古屋ガーデンパレスにて、学業優秀かつ品行方正な生徒に対して私学生徒の模範として、表彰を受けました。



熱田納稅貯蓄組合連合会 税に関するポスター入賞者
銅賞 3年A組 古田 聖尊
銅賞 2年A組 高瀬 瑞乃



愛知県私学弁論大会4位入賞
3年B組 菊池 優児

11月19日(金)に豊川市文化会館にて、演題「二つの目で見てみれば」で4位に入賞しました。高校の部には、仰星コース濱瀬 菜呂さん(星城中学出身)は「「甘ったれない」家族との関わり方」で10位という成績をおさめました。

第41回市村アイディア賞 優秀賞
1年A組 毛受 桃晴

11月22日(月)に東京・科学技術館にて表彰を受けました。文部科学大臣賞に次ぐ「優秀賞」を受賞。作品名は、「ヨシスをおる袋!」です。表彰式では、受賞者の代表2名に選ばれ、表彰のお礼の言葉と発想や製作の工夫や苦労を発表しました。





「仰星」 中学から高校仰星へ。 次のステップを目指して。

みんながいたから成長できた、みんながいたから頑張れた。そんな絆がこのエール交換を生みました。星城中学生は星城高校生に憧れて、星城高校生になる。星城の名の下、六年間で築かれる絆は、夢への架け橋。

先輩から後輩へ、後輩から先輩へ、受け継がれる優しさがここに 있습니다。

エール交換について

二宮 まず、校舎出入口前に貼ってある、中3生から高3生への受験応援メッセージを受け、高3生にとってほとめ励みとなり、勉強を頑張っています。そのお返しとして、高3生から中3生に、語学研修のメッセージを書きました。そのことについて聞きたいです。

吉田 オーストラリアでは、自分の英語が通じるかどうか心配でしたが、先輩方のコメントを見て、「思い」があれば、通じるという言葉がたくさんあり、少し安心しました。

石山 ちょっと堅苦しいコメントから面白いコメントまであり、とてもよかったと思います。

杉浦 積極的に接する事が大事だと書いてありましたので実行したいです。

吉田 「[豪]」に入れば「豪」に従え」の漢字がちがうのが、おもしろいと思いました。

オーストラリア語学研修会

二宮 では、中学生のみならず質問を受けて行きたいと思えます。

吉田 オーストラリア語学研修の一番の思い出と心構えは何ですか。

二宮 ホームステイ先の方が本当に良い人ばかりで、ワケクチャやいろいろなことを一緒にやったり、楽しい思い出ばかりでした。心構えは、体調管理をしっかりやる事が大事だと思います。オーストラリアに行く前は不安が大きいと思いますが、現地の人たちが

心を開いてしっかりとフォローしてくれますので、リラックスして行てきてください。

吉田 オーストラリアへ行って、会話に困った時はどうしましたか。

二宮 電子辞書というのがあるんですが、一応持って行きました。でも、行ったからには、チャレンジ精神で乗り越えるように自分の力で頑張る、それでも通じなければ、ジェスチャーもあります。最後の最後に電子辞書です。それと、自国のことは意外と知らないもので、日本の代表として恥ずかしくないように、日本の文化を改めて調べておくとか会話にも役に立つと思います。

仰星コースの特徴

杉浦 仰星コースの良いところは何かですか。

二宮 仰星コースは、授業が7時間、そして補習がありますので、実質8時間授業です。そのため授業内容が充実しているところだと思います。あと、少人数で、先生との距離感が近く、質問や相談などもしやすく、そういうところが仰星コースの良い点だと思います。

吉田 仰星コースに入るにあたって、準備しておくことはありますか。

二宮 さっき言ったとおり、授業が補習をいれて8時間ありますので、学校が終わるのが、5時30分くらいになるため、授業が基本となるコースであり、授業が命だと言えます。だから、授業に合わせて予習復習をしっかりやっていたら、希望の大学へ進学できる

座談会

留学部へ進学が決まった仰星コースの先輩を囲んで



左: 中3年6組吉田 奏希 (右) 3年4組杉浦 由莉 (左) 3年4組佐藤 隆之、右: 3年6組吉田 浩司

のではないですか。あと、みんなは不安や悩みとか、何かありますか。

仰星コースでは、どのように過ごすのか

杉浦 高校ではどう勉強をして、どうい人が成功するんですか。

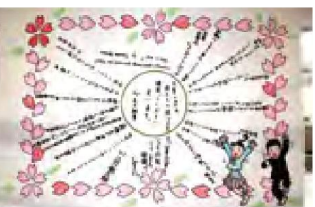
二宮 先生が発する一言一言を聞きもせず、ここが大事だということはずいぶんメモを取り、授業終了後すぐに質問に行き、また、先生も次の授業まできちんと対応してくれます。なので、授業をしっかりと理解できるように努力していけばいいと思います。僕は、家に入っていました。寮にも先生が来てくださいますので、一対一で勉強を教えてもらっていました。

吉田 仰星コースの楽しみは何ですか。

二宮 授業以外に楽しいのは、友達と過ごす時間です。行事の時ばかりは、勉強を忘れて、みんな優勝を狙って熱くなったりします。あとは、寮を空いている人がいれば、ぜひお勧めします。僕は、朝から晩までずっと友達と過ごした寮での3年間は、楽しい思い出ばかりです。先輩からもいろいろと教えてもらい、勉強時間もしっかりと確保されていて、遊ぶ時は遊ぶ。本当に良い思い出ができました。みなさんお互い頑張りましょう。



中3生から仰星コース3年生へ受験応援メッセージ



仰星コース3年生から中3生へオーストラリア語学研修のアドバイス

先輩からのメッセージ



あま市立美和中学校国語科教諭 各務 修平さん(星城二学舎5回生/仰星コース38回生)

始業前、毎朝一緒にバスケットボールをしてくださった先生。放課でも私たちと積極的に関わり、話をしてくださった先生。人間としての魅力に溢れた先生方との出会いが、私に夢を与えてくれました。中学時代、毎朝唱和した「誓いの言葉」から学んだ感謝の至誠を胸に、今日も私は教師として教壇に立っています。



星城大学リハビリテーション学部理学療法専攻3年 長坂 一樹さん(星城中学校第10回生/仰星コース43回生)

星城中学校から仰星コース、そして星城大学までの10年間を星城生として学ぶことになる私は、仰星寮で過ごした3年間が一番の思い出です。人生の中で一番楽しめるこの時期に、同年代と糧食を共にし、学びあったことは、私を大きく成長させてくれました。熱心に指導してくださる先生方や周りに感謝することを忘れず、理学療法士になることを目指しています。

年男年女

①「年初」新年
②今年の抱負 (敬称略・順不同)

新年に
信念揺れる
年男

星城大学 経営学部 教授 小林 康男

還暦を迎える今年の抱負は、今後10年を見越した研究目標の設定です。映画化されたシェイクスピア作品の検証を今後も続けたいと考えています。

年男
健康管理も
怠らず

星城大学 産学連携 星城大学 マネジメントコース主任教授 北野 達也

ある病院院長より「医療界における平成の坂本龍馬」と言われ、はや23年、業界の日本を支える人材育成を目指し、今年もさらに進進してまいりたいと考えております。
Actions speak louder than words. Better late than never.

「信念(新年)」の
その一言が
起爆剤

星城大学リハビリテーション学部 理学療法専攻助教 阿部 友和

2011年の卯年は「辛卯」とされ、新しいものを生み出す最運な一年とされています。今年も新しいものを生み出す「奮起」の一年にしたいと思います。

今年こそ
ピョンと越えよう
しっかりと
「元氣」のものは死をも得ず

星城大学リハビリテーション学部 理学療法専攻 助教 松岡 文三

昨年、キャバがいっぱいで皆さまのお世話になりました。今年も、焦らず目の前にある仕事を一つ一つ確実にこなしていきたいと思っています。

ウサギ年
目標向けて
飛び跳ねる

星城大学リハビリテーション学部 理学療法専攻 講師 飯塚 照史

学生の疑問に寄り添い、研究活動を通して自身も成長できるような指導が出来るよう精進していきたいと思っています。

コタツの間
ウトウト眠る
年男

星城高等学校国語科教諭 田中 竜平

人生4回目に入ります。昔の様に走れなくなってきたこの身体をもう一度鍛え直し、元年らしくジャンプ躍進の年にしたいです。

冷凍庫
去年の餅見ても
凍りつく

星城一学舎国語科教諭 小野 映子

雑煮を作ろうと冷凍庫を開けると、例に去年の餅が…。その餅を見て、今年の自分の課題は「先延ばしにしない事」と誓う元日の朝でした。

目がハート♡
ごちそうばかりの
お正月

星の城幼稚園教諭 垣見 彩

昨年は見通しを持ち、仕事を進めていく事の大切さに、周りの先生たちに助けられながら、改めて感じる年でした。今年は、色々な面で見通しを持ち、考え取り組めるようにしたいです。

年賀状
もらって実感
うさぎ年

星の城幼稚園教諭 伏屋 亜由美

今年も新しいことに挑戦する年にしたいです。興味のあること、やりたいことはあるのですが、考えるだけで終わってしまうことが多いので、今年こそは考えを実行し、充実した一年にしたいと思っています。

うさぎ年
跳ねてとび出す
元氣パワー

星の城幼稚園教諭 河合 由佳

毎朝「せんせいおはよう」と子どもたちから声を掛けられること、私も今日一日頑張ろうという気持ちになります。今年もクラスの子どもたちが楽しく元氣に幼稚園生活を送れるようにしていきたいです。

年明け
先ずは従兄弟に
お年玉

星城大学リハビリテーション学部 理学療法専攻 講師 酒井 教博

街や自然といった風景を撮影するのが好きなので、今年はデジタルカメラを新しい趣味として持ち、仕事とプライベートに役立てていきたいと思っています。

星城大学 平洲小学校6年生授業に星城大学留学生が参加

11月5日・9日・11日



【笑顔で交流を楽しむ留学生と小学生】

平洲小学校6年生の授業「国際理解」に星城大学留学生が参加しました。当初は校内研究授業対象クラスのみ参加依頼でしたが、他のクラスからも「外国の方との交流の機会を」という要望があり、計5クラスに延べ30人の留学生の参加となりました。

授業では、小学生6人ほどのグループに留学生1人が加わり、まず小学生が、事前に調べた日本の良さを、さまざまな方法で発表し、留学生からもいろいろな話を聞きました。そして、日本古来のおはじきやけん玉、こまなどで一緒に夢中になって遊んでいました。

来日後は、学生以外の方や小学生との交流はなく、小学校へ行くこと自体も初体験だった留学生たちでしたが、終了後は「楽しかった」「また機会があれば参加したい」と話し、小学生からは「もっと一緒にいたい」と離してもらえず、帰日も小学生がついてくるような状況がみられました。

12月21日に行われた留学生忘年会では、平洲小学校の6年生担任全員が参加され、今後も友好を深めることを約束しました。

星城高等学校 センター試験事前指導—最後まで最善を尽くそう—

1月14日

センター試験の事前指導が行われました。仰星コースおよび特進・普通コースの受験生たちが、いよいよ本番を迎える緊張感に包まれていました。

寺田校長より「勝負の時です。十分に体調を整え、最後の一秒まで諦めず、今まで培ってきた努力を如何なく発揮してください。これまで星城高等学校で学び、切磋琢磨しながら成長してきた君たちの健闘を祈っています」とのお言葉がありました。先生方は、どんな状況でもあせらず、持てる力を出し切って志望校合格への第一関門を突破してもらいたいという思いを込めて、生徒たちを送り出しました。受験生たちは、周りの方々の思いも力の糧にして、センター試験に挑んでいます。



【寺田校長の話聞く特進・普通コース生徒】

仰星コースでは、伝統行事である「白だるま」の目入れを行いました。「白だるま」は2個用意され、一人ひとりの生徒がまず今年のだるまの左目を入れ、次に昨年の先輩が左目を入れただるまの右目を入れて合格祈願しました。



【合格を願い、目を入れる仰星コース生徒】

星城高等学校・星城中学校 明德忌

12月22日



【献花を行う生徒たち】

星城高等学校本館1階アトリウム「顕彰の碑」の前で明德忌が行われました。参加者は、星城高等学校・星城中学校の生徒会役員、各クラスの代表者など約300名の生徒でした。

明德忌は「創立者の遺徳、偉業を讃え、生徒・教職員がその精神を脈々と伝承していくことを認識しあう日」という目的で実施されています。

献花に先立ち、石田正城理事長の挨拶の後、生徒を代表して高等学校の生徒会会長・池田舞さんが「私たち生徒一同は先生の遺徳を偲び、彼我一体の精神を目指していきます。礼節・感謝、自修的努力、社会貢献の建学の精神を胸に留め、星城生として周りの人のおかげで今があることに感謝し、自分の将来の夢に向かって精一杯の努力を傾け、世のため人のために尽くすことができる人になるよう努力していくことを誓います。」と決意表明をしました。その後、一人ひとりが献花を行い、午後には、学園内教職員が一堂に会し、献花を行いました。

星の城幼稚園 僕、マーブルチョコを作ったんだよ

11月12日・13日



【お菓子の家】

豊明市文化会館にて作品展が行われ、個人の絵・立体作品・版画などを展示しました。たくさんの参観者がいるなかで、家族揃って絵の前に立ち「これが僕で、これが〇〇ちゃん。車に乗って出かけてるところだよ」と一緒に出かけた時の嬉しい気持ちを表現したことを話すA君。僕は「マーブルチョコを作ったんだよ」とお菓子の家の後ろへ回ってお母さんと見ているY君。写真はそのお菓子の家です(後ろ側)。ヘンゼルとグレーテルが見つけたお菓子の家には、マーブルチョコ、キャンデー、綿菓子など子どもたちの大好きなお菓子がたくさんつけてあります。

子どもたちが生活の中で、五感を通して感じたことが表現の基盤になります。心動かされる環境、発想が生まれるきっかけになる素材・遊具・用具・自然物などに触れ、表現する過程を十分に楽しんできました。いろいろな体験を通して豊かな感性を育むことができる幼児期に、描く喜び、思いを表現する楽しさを十分に味わえるようにしていきたいと考えています。

星城大学リハビリテーション学院 ビッグ☆バン —星が誕生する日、星が最も輝く日—

11月13日

「ビッグ☆バン」という壮大なテーマを掲げ、今年も星誕祭(学院祭)が開催されました。自治会が中心となり、企画から準備、実行まで全て学生が主体となって行われる年1度の学院ビッグイベントです。時折、綱渡りのな場面!ながらも、白熱したアームレスリング、学んだことを今度は教える側になる研究発表、激安販売のフリーマーケットや模擬店、多くの新規メンバーが参加したバンドやダンス、そして会場が湧き上がったミスコンなど一日フルに使って行事を開催。もちろん学生だけでなく、教員もバンドや余興に参加し、会場を盛り上げていました。昼間部も夜間部も全学生が一堂に会する貴重な機会だけにそれぞれが全力で楽しみました。前日の体育祭から続く特別な2日間に学校全体が一つとなり、テーマの狙い通りの新たな繋がりが思い出、そしてスターが誕生した日となりました。

【ミスコン・美男?美女】



中等教育研究部

新春に学ぶ

1月6日



【研究報告にて】

学び合いを通して人と社会との関わりをみつめることを研究テーマとしました。他校の授業視察を行う中で、基本精神・ビジョンを大切にすることが必要であると再確認しました。特に、教材研究は授業の命綱であり、生きた社会を学ばせるものにしたと考えています。自分の意見や考えを具体的に語る生徒の育成を口指します。

(星城高等学校 地歴・公民科教諭 壬生 剛[右])

参加型学習による「書く力」の育成をテーマに掲げ、教師も学習者(生徒)の立場となって意見を言ったり、学習課題に応じてグループ活動の形態を変化させるなど、生徒が主体的に学ぶことのできる授業作りに取り組みました。今後もこのような学習を継続させ、生徒が文章を書きたい、書こうという気持ちを高め「書く力」の育成を口指していきたいと考えています。

(星城高等学校 国語科教諭 田中 竜平[左])

あつまれ!!「星の子」



親子2代の思い出は
桶狭間出陣太鼓!!



(父) 杉浦 昌樹さん(360年卒園)
(息子) 杉浦 天悟さん(年長組)

お子さんとのコミュニケーションは。

休日は、できるだけ時間を作って、外で遊ぶことが好きな息子と一緒に公園で遊んでいます。

父親として心がけていることは。

子どもが興味があることには、できるだけ挑戦させたいです。

天悟くんは幼稚園に通園するようになっていかがですか。

人見知りする子でしたが、他の人とコミュニケーションがとれるようになってきました。

これから、どのような人間に成長してもらいたいですか。

何事にも挑戦してもらいたいが、社会のルールを守り、他の人に迷惑をかけずに、気遣いができる人間に成長してほしいです。

星の城幼稚園に望むことは。

子どもの個性を活かして、のびのびと元気に人を思いやる気持ちを育ててほしいと思います。

星の城幼稚園で思い出に残っていることは。

太鼓の練習が厳しかったのをよく覚えています。そのおかげで子どもの太鼓を見た時は懐かしく、より身近なこととして感じました。

2月26日(土)10:00~12:10 於:東海しあわせ村

「五十肩ってどんな病気? 一肩の痛みとリハビリテーション」



リハビリテーション学部 准教授 古川 公宣



リハビリテーション学部 講師 大浦 智子

肩の痛みと腕が上まで上がらない状態の多くは五十肩といわれます。この五十肩とはどんな病気でしょうか? 今回の講座では、五十肩の説明と家庭でできるリハビリテーションを解説します。

3月5日(土)10:00~12:10 於:東海市立文化センター

「尿失禁のお話と予防体操」

女性に多いと言われる尿失禁(尿もれ)は、出産経験や加齢、肥満や運動不足による尿道を縮める括約筋や骨盤底筋が弱くなっているのが原因と考えられます。今回の講座では、尿失禁の説明と家庭でできる予防体操について解説します。



リハビリテーション学部 教授 下野 俊哉



リハビリテーション学部 助教 梶原 史恵

各会場ともに、定員100名となっております。定員になり次第、締切りとさせていただきます。実習・体操なども含まれるために、動きやすい恰好でお越しください。申込みは、お名前、連絡先、希望講座をご連絡ください。

【申込み先】FAX:052-689-6051 / E-mail:kouka2010@seiph-u.ac.jp

お申込みは、各開催日の3日前を締切りとさせていただきます。お申込みがない場合は、当日お断りをさせていただくこともございますので、必ず期日までにお申込みください。(お電話でのお申込みはできません)



【星城高等学校の創立記念式典にて挨拶】

表彰

名古屋石田学園永年勤続者

(順不同・敬称略)

30年

林 隆正(星城高等学校)
加藤 元得(星城高等学校)
山口 勝也(星城高等学校)
竹井 寛(星城高等学校)
前田 孝仁(星城高等学校)
角谷 宗和(星城大学
リハビリテーション学院)

20年

北出 篤夫(星城大学)
マーティン・スナイダー(星城大学)
ジョージ・サワ(星城大学)
桑村 康裕(星城高等学校)
吉川 規明(星城高等学校)
喜多嶋 啓(星城中学校)
吉澤則比古(星城中学校)
横井 隆幸(企画室)

10年

村上美保子(星城大学)
梅村 博昭(星城高等学校)
深谷 泰郎(星城高等学校)
山田 篤(星城高等学校)
城戸 孝之(星城高等学校)
竹内 裕幸(星城高等学校)
小野 映子(星城中学校)

活躍

「2010東海シティマラソン」10キロ全員完走

—星城大学リハビリテーション学部有志50名—

12月12日(日)、「2010東海シティマラソン」が開催され、星城大学リハビリテーション学部の学生50名と、江西一成学部長・木村大介先生が参加し、見事10kmを全員完走しました。

一般男子・29歳以下の部では、理学療法学専攻3年多田拓生君が22位(38分57秒)、作業療法学専攻3年工藤元貴君が29位(39分29秒)でベスト30に入る健闘ぶりでした。

江西学部長の「地元の大学として存在感を示そう」との呼びかけに、昨年より多い50名の学生が集い、練習を重ね、全員が完走という結果を収めました。当日、急きょ出場する事になった3名の学生も完走を果たし、来年はどんな走りを見せてくれるのか期待が持てます。

【完走後、新聞社の取材を受ける(左から)江西学部長・多田君・キャプテン木村君】



【作業療法学専攻学生(ベスト30に入った工藤君(前列右))】



学校法人 名古屋石田学園
法人本部 企画室

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目14番32号
TEL:052-221-8921 FAX:052-204-0723
URL:http://www.n-ishida.ac.jp/
E-mail:main@n-ishida.ac.jp

星城懇話会

12月9日(木)会員交流会が開催され、100名近くの方々にご参加いただきました。企業PRタイムの企画もあり、お互いの交流が盛んに行われた有意義な会となりました。